

6月どりに適した、しみ腐病に強い、晩抽性春夏ニンジン!!

渡辺交配

千葉県で好評春夏ニンジン

NX-DC301 ニンジン

千葉県のニンジンは、作付面積が全国第2位の2,950ha(令和2年)で、主にトンネル春夏どり及び秋冬どりの2つの作型で栽培されています。特にトンネル春夏どりのうち6月どり栽培では、収量、外観品質及び晩抽性に加えて、収穫となる梅雨期でもしみの発生が少ない品種が産地から要望されています。そこで、晩抽性で、しみ腐病に高い耐病性をもつ6月収穫のトンネル春夏どりニンジンに最適な「NX-DC301」ニンジンをご紹介します。



千葉県でおすすめの耕種概要

耕種概要:1月中旬～2月下旬播種 5月中旬～6月下旬収穫

6条～8条トンネルマルチまたはべたがけマルチ栽培、株間6～8cm



草勢はコンパクトで地上部の揃いが良い



根部の揃いに優れ、形状も良い



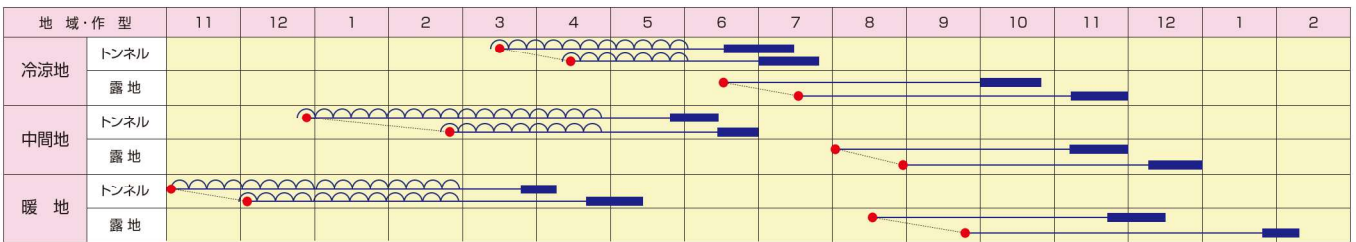
太りに優れ、L～2Lサイズの見栄えが特に良い



首部の凹凸が少なく、青首の発生も見られない

【品種特性】

- ①低温肥大性、揃い性、尻詰まりが良い晩抽早生種。
- ②しみ腐病に強く、収穫後の変色が出にくい。
- ③草勢おとなしく、草姿立性のため、作業性に優れ機械収穫にも適する。



貴産地でも是非お試しください。品種特性はP13をご参照ください。